

中央大学リーガル・キャリア・サポート委員会主催
業務・採用等説明会（2014年5月24日開催）

OB 官僚による国家公務員説明会 ～法科大学院生に期待すること～

中央大学法科大学院では、リーガル・キャリア・サポート委員会を組織し、在学生・修了生のみなさんに対して進路決定・就職に関するサポートを行っています。

今回は、「OB 官僚による国家公務員説明会～法科大学院生に期待すること～」というタイトルで、国税庁の大西篤史さんをお招きして、お話を伺いました。現役官僚であるご自分の経験を踏まえた国家公務員の仕事の特徴や面白さ、また、法科大学院生に対する期待を含めた要望などについて、ご説明いただきました。



大西氏は中央大学法科大学院のOBでもあり、後輩に自分の経験を役立ててほしい、また、悔いのない就職活動をしてほしいとの思いから、休みを返上して来校してくださいました。

最初に、法科大学院入学から現在までの経験について、積極的にいろいろな機会をチャンスと捉え、経験を積んできたことを具体的にお話いただきました。特にサマーインターンシップで訪問した事務所で実態を目の当たりにしたこと、エクスターンシップで省庁に行った経験から国家公務員という仕事に興味が出てきたこと、スタディア

ブロードプログラムでオランダ・ドイツに行き、その内容から比較法に関心が出たこと、司法試験合格発表後から慌てて国家公務員I種（現国家公務員総合職）の試験準備に取り掛かり、なんとか採用に至ったこと、試験終了後4月の入庁までに海外旅行をした際、海外留学中の法科大学院の恩師を訪ねて現地を案内してもらったこと等、アグレッシブな姿勢が自分をいかに成長させ、考えを深めることができたかを伺いました。また、国税庁入庁後の異動経験を通して仕事への取り組み方、公務員の仕事の面白さや法科大学院出身者が仕事や上司とどの様に向き合うかを熱く語っていただきました。



また、法科大学院生に対して、専門性、人間力、教養、ディスカッションスキル、司法試験勉強や受験を通して養ったストレス耐性等が期待することとして示されました。

最後に、今後の就職活動にあたって常にアグレッシブに行動し、チャンスを自ら作り活かす努力をする等の注意がいくつも示され、参加者は、熱心に思いを伝えてくださる先輩の姿に感銘を受け、その思いに応えたいとの思いを強くしました。

リーガル・キャリア・サポート委員会では、今後も講演会等のイベントを実施していきます。在学生また修了生のみなさん、積極的にご参加ください。